本文

○省令

外務省令第六號

明治四十二年五月外務省令第五號外國在留帝國臣民登錄規則中左ノ通リ改正ス

明治四十二年八月十六日　外務大臣　伯爵小村壽太郎

第十一條　本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前外國ニ在留スル帝國臣民ハ明治四十三年九月三十日迄ニ本令ノ規定ニ準シ届出ヲ爲スコトヲ要ス

司法省令第十七號

產業組合登記取扱手續左ノ通相定ム

明治四十二年八月十六日　司法大臣　子爵岡部長職

產業組合登記取扱手續

第一條　產業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條　產業組合聯合會登記簿ハ附錄第一號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條　產業組合中央會登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條　產業組合登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條　產業組合登記受附帳ハ附錄第四號雛形ニ依リ每年之ヲ調製スヘシ

第六條　登記所ニハ登記簿、組合原簿、聯合會原簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

一　謄本抄本證明書交付帳

二　申請書副託書通知書附屬書類綴込帳

三　受領證原符元帳

四　決定原本綴込帳

五　登記簿謄本綴込帳

六　登記濟證交付帳

七　抗告書類綴込帳

八　印鑑簿

第七條　前條第一號乃至第七號ノ帳簿ハ一个年每ニ別冊ト爲スヘシ

第八條　組合原簿ハ附錄第五號乃至第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

聯合會原簿ハ附錄第五號及ヒ第七號雛形ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第九條　組合原簿ヲ作成スルニハ美濃判大ノ紙料ヲ用ウヘシ

第十條　申請人ハ組合原簿ノ表紙ニ署名捺印スヘシ

組合原簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ理事又ハ監事カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第十一條　無限責任組合及ヒ保證責任組合ノ區域ヲ定メタル場合ニ於テハ其區域ニ屬スル行政區畫又ハ大字若クハ字ノ名稱ヲ組合原簿ノ表紙ノ裏面ニ記載スヘシ

第十二條　組合原簿カ二册以上ナルトキハ申請人ハ各册ノ表紙ニ其册數ヲ記載スヘシ

第十三條　組合原簿、聯合會原簿及ヒ印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳及ヒ登記簿謄本綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳及ヒ抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

謄本抄本證明書交付帳、受領證原符元帳及ヒ登記濟證交付帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十四條　產業組合法第九條第二項但書ノ場合ニ於テハ設立登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第十五條　組合カ其主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ更ニ組合原簿ヲ差出スヘシ但組合原簿ニハ現存セル事項ノミヲ記載スヘシ

第十六條　產業組合法第六十六條ノ場合ニ於テ主タル事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ定款、總會ノ決議錄又ハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面及ヒ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附シ且組合原簿ヲ差出スヘシ

第十七條　產業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ組合カ其組織ヲ變更シタル場合ニ於テ主タル事務所所在地ノ登記所ニ其登記ヲ申請スルトキハ同時ニ組合原簿ヲ差出スヘシ

許可 7843 号 本文

第７８４３号 本文

第十八條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於ケル登記ノ申請書ニハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十九條　登記ノ申請書ニハ登記事項ニ付キ總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄、總組合員ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ其同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二十條　産業組合法第百二條第二項ニ依ル登記ノ囑託ニ付テハ登錄稅ヲ要セス

第二十一條　無限責任組合原簿及ヒ保證責任組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其申請書ニ變更シタル事項ノ記載アル用紙ヲ編綴セル組合原簿ノ册數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ但組合員ノ加入ニ因ル組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ハ此限ニ在ラス

第二十二條　無限責任組合員ノ加入ニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ノ外加入シタル組合員ノ加入ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

保證責任組合員ノ加入ニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ加入シタル組合員ノ保證金額ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二十三條　前條ノ場合ニ於テハ組合ニ加入シタル組合員ニ付キ追加組合原簿（甲部用紙ヲ除ク）ヲ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ加入シタル組合員カ多數ナルトキハ申請書ニハ組合原簿ニ揭ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條ノ規定ハ第一項ノ追加組合原簿ニ之ヲ準用ス

第二十四條　前條ノ規定ニ依リ差出シタル追加組合原簿ハ前ノ組合原簿ニ編綴シ登記官吏其綴目ニ契印スヘシ

第二十五條　前三條ノ規定ハ組合員ニ非サル者カ無限責任組合員又ハ保證責任組合員ノ持分ヲ讓受ケタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條　第二十三條及ヒ第二十四條ノ規定ハ産業組合法第六十六條ノ場合ニ於テ合併後存續スル無限責任組合又ハ保證責任組合カ組合員ノ增加シタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　第十九條ノ規定ハ組合原簿ノ記載ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條　組合カ産業組合法第十五條ノ二第二項ノ規定ニ依リ登記所ニ通知ヲ爲ス場合ニ於テハ通知書ニ大字若クハ字又ハ其名稱ニ變更アリタル事由及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第二十九條　登記官吏カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ受附帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル組合ノ名稱、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ但通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的欄ニ、通知ヲ爲シタル組合ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第三十條　組合カ其事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ産業組合法第十六條ノ規定ニ依リ同法第十四條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ又ハ同法第六十六條ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

第三十一條　主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄內ニ主タル事務所又ハ他ノ主タル事務所ニ非サル事務所アル場合ニハ之ヲ適用セス

第三十二條　組合ノ理事又ハ監事カ任期滿了ノ後再選セラレタルニ因リ變更登記ノ申請アリタルトキハ新ニ選任セラレタルト同一ノ登記及ヒ公告ヲ爲スヘシ

第三十三條　産業組合法第十五條ノ二第三項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ變更ノ登記ヲ爲シタルトキト雖モ其公告ヲ爲スコトヲ要セス

第三十四條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ組合原簿ノ表紙ニ登記番號、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第三十五條　組合原簿ハ各組合每ニ各別ニ之ヲ保存スヘシ但有限責任組合原簿ハ之ヲ合綴スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ合綴シタル帳簿ニ目錄ヲ附スヘシ

第三十六條　組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ前ノ組合原簿中相當部分ノ變更欄ニ其記載ヲ爲スヘシ

第三十七條　無限責任組合員又ハ保證責任組合員ノ脫退ニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ組合原簿中相當部分ノ變更欄ニ其記載ヲ爲シ脫退シタル組合員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

第三十八條　産業組合法第十五條ノ二第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ無限責任組合原簿及ヒ保證責任組合原簿ノ表紙ノ裏面ニ行政區畫、大字若クハ字又ハ其名稱ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ノ裏面ニ記載シタル行政區畫、大字若クハ字又ハ其名稱ヲ變更スヘシ

第三十九條　前條ノ規定ニ依リテ大字若クハ字又ハ其名稱ヲ變更シタルトキハ産業組合法第十五條ノ二第三項ノ規定ニ依ル組合原簿ノ記載ノ變更ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十條　無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ甲部用紙中變更欄カ記載ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其組合原簿ニ甲部ノ繼續用紙ヲ編綴シ變更欄ニ變更ノ記載ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙及ヒ繼續用紙中適當ノ場所ニ便宜ノ方法ヲ以テ交互參看ノ符號ヲ附記スヘシ

前用紙中他ノ變更欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ記載スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ記載ヲ爲スヘシ

前三項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ乙部用紙中或組合員ノ變更欄カ記載ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其組合原簿ニ乙部ノミノ繼續用紙ヲ編綴シ之ニ其組合員ノ氏名、住所等ヲ移シタル上變更欄ニ變更ノ記載ヲ爲スヘシ

第四十二條　第四十條ノ規定ハ有限責任組合原簿ニ之ヲ準用ス

前條第二項及ヒ第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條　産業組合法第七十九條第一項但書ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本、同條第二項ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第四十四條　産業組合法第八十條第一項但書ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第四十五條　登記官吏カ産業組合聯合會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ産業組合登記受附帳ニ記入スヘシ

第四十六條　産業組合聯合會ノ登記及ヒ産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外産業組合ノ登記及ヒ産業組合原簿ノ記載ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十七條　第十八條乃至第二十條、第二十八條乃至第三十三條及ヒ第四十五條ノ規定ハ産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十八條　不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第六條、第七條、第九條乃至第二十條、第二十三條乃至第三十三條、第四十四條、第四十六條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及ヒ産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附　則

第四十九條　本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條　明治三十三年司法省令第二十九號産業組合登記取扱手續ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第五十一條　本令施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル組合カ産業組合法第十五條第一項第一號及ヒ第二號ニ揭ケタル事項ニ變更ヲ生シタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ本令ニ定メタル組合原簿ヲ差出スヘシ

前項ノ組合原簿ニハ變更前ノ出資ノ總口數及ヒ拂込ミタル出資ノ總額ヲ記載スヘシ

第五十二條　本令施行前ニ登記シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

第五十三條　本令施行前ニ調製シタル産業組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノナルト否トヲ問ハス當分ノ內其儘之ヲ使用スルコトヲ得

附錄第一號

產業組合登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方裁判所長

登記番號	第　號
登記ノ年月日及ヒ登記官印（第一欄ヨリ第十欄マテ）	明治　年　月　日登記
一　名稱	
二　組織	
三　事務所	
四　目的	
五　設立許可ノ年月日	
六　出資一口ノ金額	
七　出資拂込ノ方法	
八　理事ノ氏名、住所	

丁

九　監事ノ氏名、住所	十　存立ノ時期又ハ解散ノ事由	十一　解散ノ事由及ヒ年月日	十二　清算人ノ氏名、住所
		明治　年　月　日登記	明治　年　月　日登記

豫備

丁

變更	變更	變更	變更

變更	變更	變更	變更

丁　丁

附錄第三號

産業組合中央會登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方裁判所長

附錄第三號

産業組合登記見出帳

區裁判所

附錄第四號

産業組合登記受附帳

區裁判所

附錄第五號

有限責任何々組合ノ組合原簿

理事
監事

附錄第六號

無限責任何々組合ノ組合原簿

理事
監事

附錄第七號

保證責任何々組合ノ組合原簿

理事
監事

○府令

統監府令第二十一號

韓國銀行總裁、理事ニシテ韓國銀行條例第四十一條ノ事犯アリタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

明治四十二年七月三十一日　統監　子爵曾禰荒助

○告示

大藏省告示第百十八號

國債事務取扱店中日本銀行大連派出所ノ位置本月一日ヨリ關東州大連大山通ニ變更セリ

明治四十二年八月十六日　大藏大臣　侯爵桂太郎

本文 178413 号

統監府告示第七十號

韓國政府ハ隆熙三年七月二十七日法律第二十二號ヲ以テ韓國銀行條例ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年七月三十一日　統監　子爵曾禰荒助

韓國銀行條例

第一章　總則

第一條　韓國銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ京城ニ置ク

第二條　韓國銀行ハ政府ノ認可ヲ受ケ要地ニ支店代理店ヲ設立シ又ハ他ノ銀行ト「コルレスポンデンス」ヲ締約スルコトヲ得

政府ニ於テ支店代理店ヲ必要ナリトスルトキハ銀行ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトアルヘシ

第三條　韓國銀行ノ存立時期ハ設立登記ノ日ヨリ五十年トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第四條　韓國銀行ノ資本金ハ一千萬圓トシ之ヲ十萬株ニ分チ一株ノ金額ヲ百圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ資本金ヲ增加スルコトヲ得

第五條　韓國銀行ノ株式ハ總テ記名ト爲シ韓日兩國人ニ限リ所有スルコトヲ得

第六條　政府ハ韓國銀行ノ株式ノ內三萬株ヲ引受クヘシ

政府ハ前項ニ依リ引受ケタル韓國銀行ノ株式ヲ離權スルコトヲ得ス

第七條　本條例ニ規定スルモノノ外日本國株式會社ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章　重役

第八條　韓國銀行ニ總裁一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置ク

第九條　總裁ハ韓國銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ理事ノ一人其ノ職務ヲ代理シ總裁闕員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ總裁ヲ補佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ韓國銀行ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ韓國銀行ノ業務ヲ監査ス

第十條　總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選擧シタル二倍ノ候補者中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十一條　總裁及理事ハ何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　株主總會

第十二條　通常株主總會ハ每年二回定款ニ定メタル時期ニ於テ總裁之ヲ招集ス

第十三條　臨時株主總會ハ臨時ノ事項ヲ議スル爲何時ニテモ總裁之ヲ招集スルコトヲ得

第十四條　監事ノ全員又ハ總株金ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的ヲ示シテ臨時株主總會ノ招集ヲ總裁ニ請求スルコトヲ得

總裁前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ

第十五條　株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ其ノ所有株數一株ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ增ス每ニ一箇ヲ加フ

第十六條　株主總會ニ於テハ株主ハ議決權ヲ有スル株主ノ外代理ヲ委託スルコトヲ得ス但シ法定代理人ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　定款ノ變更ハ總資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四章　營業

第十八條　韓國銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

第一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

第二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲手形金ノ取立

第三　爲替及荷爲替

第四　確實ナル擔保アル貸付

第五　諸預リ金及當座貸越勘定

第六　金銀貨貴金屬及諸證券ノ保護預リ

第七　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

公共團體ニ對シ政府ノ認可ヲ受ケ無擔保貸付ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債券其ノ他政府ノ指定スル確實ナル有價證券ヲ買入ルルコトヲ得

韓國銀行ハ政府ノ認可ヲ受ケ他銀行ノ業務代理ヲ爲スコトヲ得

第十九條　韓國銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ買入レ又ハ債務辨濟ノ爲引受ケタル物件ヲ所有スルノ外動產及不動產ヲ買取ルコトヲ得ス

第二十條　韓國銀行ハ國庫金ヲ預リ其ノ出納ニ關スル事務ヲ無償ニテ取扱フ義務アルモノトス

政府ハ韓國銀行ヲシテ貨幣整理事務及國債元利金ノ出納ニ關スル事務ヲ取扱ハシムヘシ

第二十一條　韓國銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ政府ノ命令ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五章　銀行券

第二十二條　韓國銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ銀行券ハ韓國銀行本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨若ハ日本銀行兌換券ト引換フルモノトス但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第二十三條　韓國銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨地金銀及日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

前項準備ニ依ルノ外韓國銀行ハ特ニ二千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券若ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

市場ノ狀況ニ由リ前二項ノ外更ニ銀行券ノ發行ヲ必要トスルトキハ政府ノ認可ヲ受ケ國債證券其ノ他確實ナル證券若ハ商業手形ヲ保證トシテ之ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ノ命スル所ニ依リ一箇年百分ノ五ヲ下ラサル割合ヲ以テ發行稅ヲ納ムヘシ

第二十四條　韓國銀行ヨリ發行スル銀行券ハ公私ノ取引ニ無制限ニ通用スルモノトス

第二十五條　韓國銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高表ヲ官報ニ公告スヘシ

第二十六條　銀行券ノ製造發行損券引換及銷却等ノ手續ハ別ニ之ヲ定ム

第二十七條　銀行券ノ僞造變造ニ係ル罪ハ刑法僞造紙幣ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第六章　準備金及納付金

第二十八條　韓國銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ闕損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第二十九條　株主ヘノ利益配當額拂込資本ニ對シ年百分ノ十二ヲ超過スルトキハ韓國銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第七章　政府ノ監督及補助

第三十條　政府ハ韓國銀行ノ業務ヲ監督ス

第三十一條　韓國銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條　韓國銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條　政府ハ必要ナリト認ムルトキハ銀行券ノ種類發行高貸付割引ノ金額及方法又ハ其ノ利子步合爲替料及正貨準備若ハ保證準備ニ關シ制限ヲ付スルコトヲ得

第三十四條　政府ハ韓國銀行ノ營業上本條例定款又ハ監督上政府ノ發シタル命令ニ背戾シ若ハ公益ヲ害スル事項アリト認ムルトキハ之ヲ制止シ尚情狀ニ依リ役員ヲ解職スルコトヲ得

第三十五條　韓國銀行ハ政府ノ命令ニ從ヒ其ノ營業ニ關スル諸般ノ景況及計算報告書ヲ差出スヘシ

第三十六條　政府ハ特ニ韓國銀行監理官ヲ置キ韓國銀行ノ業務ヲ監視セシム

第三十七條　韓國銀行監理官ハ何時ニテモ韓國銀行ノ金庫帳簿及諸般ノ文書ヲ檢查スルコトヲ得

韓國銀行監理官ハ監視上必要ナリト認ムルトキハ何時ニテモ韓國銀行ニ命シ營業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

韓國銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十八條　韓國銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要ス

第三十九條　韓國銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以下ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ年百分ノ六ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ創立初期ノ末日ヨリ五年間ヲ限リ之ニ達セシムヘキ金額ヲ補給スヘシ

第四十條　政府ハ韓國銀行創立ノ際其ノ營業費ヲ補助スル爲百二十萬圓ヲ限リ無利子ニテ貸下クヘシ

前項貸下金ハ貸下ノ日ヨリ五年間据置キ以後十年賦ニテ償還セシムルモノトス

第八章　罰則

第四十一條　韓國銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁若ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ又ハ代理スル理事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス其ノ事犯ニシテ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　第二十一條ノ規定ニ反シ本條例ニ記載ナキ又ハ政府ノ命令ニ基カサル業務ヲ營ミタルトキ

二　第二十三條ノ規定ニ反シ銀行券ヲ發行シタルトキ

三　第二十八條ノ規定ニ反シ準備金ヲ積立テサルトキ

四　本條例ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第四十二條　前條ノ過料ハ裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ科ス其ノ命令ニ對シテハ十四日以內ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

附則

第四十三條　本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十四條　韓國銀行ノ設立ニ關スル一切ノ事務ハ之ヲ日本政府ニ委託ス

第四十五條　第十五條第十六條及第十七條ノ規定ハ之ヲ創立總會ニ準用ス

第四十六條　創立初度ノ理事及監事ハ任期ヲ除クノ外第十條ノ條件ニ拘ラス政府之ヲ命ス

第四十七條　韓國銀行ハ政府ノ定ムル所ニ從ヒ株式會社第一銀行ノ權利義務ヲ承繼スルモノトス

第四十八條　前條承繼前株式會社第一銀行ノ發行シタル銀行券ハ韓國銀行ニ於テ發行シタルモノト看做ス

第四十九條　第四十七條ニ依ル承繼ト同時ニ韓國銀行ハ政府ノ定ムル所ニ

第7843号 本文

從ヒ承繼ノ日ニ於ケル保證擔保ニ相當スル金額ヲ限リ無利子二十年賦償還ヲ以テ株式會社第一銀行ニ貸付クヘシ

統監府告示第七十一號

韓國政府ハ隆熙三年七月三十一日勅令第六十八號ヲ以テ軍部廢止、親衞府新設及之ニ附帶スル件ヲ、勅令第六十九號ヲ以テ侍從武官府官制外四件廢止ノ件ヲ、勅令第七十號ヲ以テ內閣官制中改正ノ件ヲ、勅令第七十一號ヲ以テ各部官制通則中改正ノ件ヲ、勅令第七十二號ヲ以テ憲兵補助員募集ニ關スル件中改正ノ件ヲ、布達第三號ヲ以テ親衞府官制ヲ、布達第四號ヲ以テ侍從武官府官制ヲ、布達第五號ヲ以テ東宮武官府官制ヲ、布達第六號ヲ以テ近衞騎兵隊編制ノ件ヲ、布達第七號ヲ以テ近衞步兵隊編制ノ件ヲ、布達第八號ヲ以テ武官竝相當官及下士卒ノ官等俸給、給料、乘馬本分、服裝及懲戒ニ關スル件ヲ、布達第九號ヲ以テ武官恩給ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年七月三十一日　　統監　子爵曾禰荒助

軍部廢止、親衞府新設及之ニ附帶スル件

第一條　軍部ヲ廢シ宮中ニ親衞府ヲ置ク

親衞府官制ハ別ニ之ヲ定ム

第二條　在來ノ軍部ニ屬スル歲入歲出豫算金額及財產ハ總テ宮內府ニ移シ現ニ不用ニ屬スル財產ハ之ヲ度支部所管ニ移スモノトス

第三條　陸軍武官學校ハ之ヲ廢止ス其ノ時期ハ別ニ之ヲ定ム

武官ノ養成ハ日本國ニ委託スルモノトス

第四條　現在ノ將校竝將來日本政府ニ委託養成シタル者ハ日本軍隊ニ派遣シ軍事ノ研究ヲ爲サシム

第五條　將校休職ト爲リタルトキハ其ノ俸給ノ半額ヲ受ケ停職ト爲リタルトキハ其ノ俸給ノ三分ノ一ヲ受クルモノトス

第六條　將校現役ヲ離レタルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利アルモノトス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

侍從武官府官制外四件廢止ノ件

隆熙元年勅令第十一號侍從武官府官制、隆熙二年勅令第十六號東宮武官府官制、隆熙元年勅令第十七號親王附武官官制、隆熙元年勅令第十六號近衞步兵隊編制ノ件及隆熙元年勅令第五十八號近衞騎兵隊編制ノ件ハ之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

內閣官制中改正ノ件

光武十一年勅令第三十五號內閣官制中左ノ通改正ス

第八條　削除

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

各部官制通則中改正ノ件

隆熙元年勅令第三十六號各部官制通則中左ノ通改正ス

第一條中軍部ヲ削ル

第十一條第二項削除

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

憲兵補助員募集ニ關スル件中改正ノ件

隆熙二年勅令第三十一號憲兵補助員募集ニ關スル件中左ノ通改正ス

第二條第二項削除

第三條中但書削除

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

親衞府官制

第一條　宮中ニ親衞府ヲ置ク

第二條　親衞府ニ左ノ職員ヲ置ク

一親衞府長官　一人　親任

一親衞府武官　二人　參將又ハ領官

一副官　一人　領官又ハ尉官

一主事　五人　下士又ハ判任官

第三條　親衞府長官ハ軍人軍屬ヲ統督シ所轄諸部ヲ監督ス

親衞府長官ハ將校同相當官及奏任軍屬ノ任免、進級、褒職ハ閣議ヲ經テ上奏シ下士及判任軍屬ニ在リテハ之ヲ專行ス

第四條　親衞府武官ハ親衞府長官ノ命ヲ承ケ府務ヲ分掌ス

副官ハ親衞府長官ノ命ヲ承ケ官房ノ事務ヲ掌ル

主事ハ上官ノ指揮ヲ承ケ府務ニ從事ス

第五條　親衞府職員定員ノ外親衞府附トシテ六人以內ヲ置キ領尉官及同相當官ヲ以テ之ヲ補スルコトヲ得

前項ノ職員中一人ハ親王附武官ト爲スコトヲ得

第六條　兵器彈藥ノ管理及處分ハ韓國駐箚日本軍司令官ニ委託ス

第七條　軍人軍屬ノ犯罪ニ關スル司法處分ハ韓國駐箚日本軍軍法會議ニ委託ス

第八條　將校及同相當官ニ關スル人事、軍隊ノ行動、其ノ他重要ナル規則ノ制定ニ付テハ韓國駐箚日本軍司令官ノ承認ヲ受クルモノトス

第九條　親衞府ニ顧問若干人ヲ置キ日本將校及同相當官ヲ以テ之ニ充ツ

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

侍從武官府官制

第一條　侍從武官府ヲ置キ其ノ職員ヲ左ノ如ク定ム

侍從武官長　一人

侍從武官　四人　領官二人　尉官二人

主事　五人　下士又ハ判任官

第二條　侍從武官長及侍從武官ハ大皇帝陛下ニ常時奏御シ軍事ニ關シ上奏奏答及命令傳達ニ任シ又親兵、演習動靜ノトキ其ノ他祭儀禮典、御宴陛見等ノトキ常時扈從ス

第三條　侍從武官長ハ侍從武官以下ノ勤務ヲ規定シ且之ヲ監督ス

第四條　侍從武官ハ演習其ノ他軍事上視察ノ爲派遣セラルルコトアルヘシ

第五條　侍從武官ハ參謀官トス

第六條　侍從武官ノ任免ハ閣議ヲ經テ親衞府長官之ヲ奏請ス

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

東宮武官府官制

第一條　東宮武官府ヲ置キ其ノ職員ヲ左ノ如ク定ム

東宮武官長　一人　將官

東宮武官　二人　領官一人　尉官一人

主事　三人　下士又ハ判任官

第二條　東宮武官長ハ皇太子殿下ノ匡翼輔弼ノ責ニ任ス

第三條　東宮武官長及東宮武官ハ皇太子殿下ノ威儀整飾ヲ奉助シ軍事ニ關シ入啓奉答及命令傳達ニ任シ動輿、觀兵、演習其ノ他軍務及祭儀禮典、宴禮謁見等ノトキ陪衞扈從ス

第四條　東宮武官長ハ東宮武官以下ヲ監督ス

東宮武官長ハ東宮武官以下ノ勤務細則ヲ規定ス

第五條　東宮武官ハ參謀官トス

第六條　東宮武官長及東宮武官ノ任免ハ閣議ヲ經テ親衞府長官之ヲ奏請ス

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

近衞騎兵隊編制ノ件

第一條　近衞騎兵隊ヲ置キ皇室儀仗ノ任ヲ掌ル

第二條　近衞騎兵隊ノ職員ハ別表ニ依ル

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　近衞騎兵隊ニ顧問若干人ヲ置キ日本將校及同相當官ヲ以テ之ニ充ツ

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表省略）

近衞步兵隊編制ノ件

第一條　近衞步兵一大隊ヲ置キ皇宮ノ儀仗及守衞ヲ擔任ス

第二條　近衞步兵隊ハ大隊本部及四箇中隊ヲ以テ編制ス

第三條　近衞步兵隊ノ職員ハ別表ニ依ル

第四條　近衞步兵隊ニ顧問若干人ヲ置キ日本將校及同相當官ヲ以テ之ニ充ツ

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表省略）

武官竝相當官及下士卒ノ官等俸給、給料、乘馬本分、服裝及懲戒ニ關スル件

武官竝相當官及下士卒ノ官等俸給、給料、乘馬本分、服裝及懲戒ニ關シテハ總テ從前ノ規定ヲ準用ス

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

武官恩給ニ關スル件

第一條　隆熙三年勅令第六十八號施行ノ際現役ヲ離レタル將校及同相當官ハ本則ノ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受クルモノトス

第二條　恩給ハ別表ニ依リ終身之ヲ給ス

第三條　恩給ノ支給ハ現役ヲ離レタル翌月ニ始マリ死亡ノ月ヲ以テ終ルモノトス

第四條　恩給ヲ受クル者重罪ノ刑ニ處セラレ若ハ帝國臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ恩給ヲ剝奪ス

第五條　恩給ヲ受クル者再現役ニ就キ若ハ判任官以上ノ職ニ任セラレタルトキハ其ノ間恩給ノ支給ヲ停止ス

第六條　恩給ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル後一箇年內ニ請求セサレハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第七條　恩給ハ讓渡シ若ハ擔保ノ目的ト爲シ又ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第八條　恩給ノ支給ハ親衞府長官之ヲ裁定ス

第九條　本則ノ施行細則ハ親衞府長官之ヲ定ム

附　則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

恩給年額

副將	參將	正領	副領	參領	正尉	副尉	參尉
四八〇圓	四二〇圓	三六〇圓	三〇〇圓	二四〇圓	一八〇圓	一四四圓	一二〇圓

○敍任及辭令

○明治四十二年八月十四日

任海軍中尉　海軍兵曹長從七位勳五等　安倍兼吉
任新潟縣古志郡長
敍高等官六等　新潟縣東頸城郡長正七位勳六等　齋藤文吾
任新潟縣東頸城郡長
敍高等官六等　宮城縣桃生郡長從七位勳六等　熊谷綱介
任新潟縣中蒲原郡長
敍高等官六等　新潟縣西頸城郡長正七位勳六等　四戸梅太郎
任新潟縣事務官補
敍高等官七等　新潟縣中蒲原郡長從七位　金森輝夫
任新潟縣西頸城郡長
敍高等官八等　新潟縣屬勳八等　大平廣彌
任宮城縣桃生郡長
敍高等官八等　宮城縣警部正八位勳八等　上田景安

免兼官　理事兼陸軍監獄長　工藤雅節
依願免本官　新潟縣古志郡長　稻垣宗正
御用有之北米合衆國へ被差遣（以上八月十四日内閣）　京都市陶磁器試驗場技師　藤江永孝
休職被仰付（八月十五日同）　海軍主計總監　土井順之助
堺市和歌山市へ出張ヲ命ス　内務書記官　中川望
山口縣鳥取縣へ出張ヲ命ス　内務事務官　潮惠之輔
一級俸下賜　青森縣事務官補　三浦慶作
三級俸下賜　新潟縣事務官補　金森輝夫
六級俸下賜　宮城縣桃生郡長　上田景安
一級俸下賜　新潟縣古志郡長　稻垣宗正
四級俸下賜　新潟縣古志郡長　齋藤文吾
五級俸下賜　新潟縣東頸城郡長　熊谷綱介
四級俸下賜　新潟縣中蒲原郡長　四戸梅太郎
五級俸下賜（以上八月十四日内務省）　新潟縣西頸城郡長　大平廣彌
臨時陸軍建築部大阪支部高槻出張所在勤ヲ命ス　臨時陸軍建築部大阪支部部員陸軍工兵中尉　出口久吉
退職ヲ命ス（以上八月十四日陸軍省）　理事　工藤雅節
免本職補海軍機關學校教官兼監事　出雲機關長海軍機關中佐　野口興國
免本職竝兼職出雲機關長心得被仰付　海軍機關學校教官兼監事海軍機關少佐　藤江遜志
兼補龍田機關長分隊長　千代田機關長兼分隊長海軍機關少佐　細野幸三郎
免本職竝兼職補石見分隊長　龍田機關長兼分隊長海軍機關大尉　大塚揆一
免本職補生駒分隊長　横須賀海軍港務部部員海軍機關大尉　山口光顯
免本職補横須賀海軍港務部部員　周防分隊長海軍機關大尉　兒井常
免本職補出雲分隊長　石見分隊長海軍機關大尉　岸田東次郎
免本職　生駒分隊長海軍機關大尉　中田藤三郎
待命被仰付（但呉ニ滯在スヘシ）　海軍機關大尉　中田藤三郎
免本職補周防分隊長　宗谷分隊長海軍機關大尉　坂井爲吉
免阿蘇乘組補第二驅逐隊附　海軍機關少尉　氏家長明
免本職出雲乘組被仰付　第二驅逐隊附海軍機關少尉　大津秀男
後備役被仰付　海軍兵曹長　安倍兼吉
舞鶴海軍工廠附被免舞鶴海軍港務部附被仰付　海軍機關兵曹長　宗仁三郎
舞鶴海軍港務部附被免舞鶴海兵團附被仰付　海軍機關兵曹長　高橋源次郎
夕霧乘組被免　海軍機關兵曹長　矢野新八郎
待命被仰付（但佐世保ニ滯在スヘシ）　海軍機關兵曹長　矢野新八郎
舞鶴海兵團附被免夕霧乘組被仰付（以上八月十四日海軍省）　海軍機關兵曹長　岡本利八
休職被仰付（八月十五日同）　海軍主計中監　古賀武四郎
文官普通試驗委員ヲ命ス　遞信省參事官　棟居喜九馬
文官普通懲戒委員ヲ命ス（以上七月二十七日遞信省）　遞信省參事官　棟居喜九馬
秋田縣下へ出張ヲ命ス（八月十一日同）　海事局技師　兒玉德太郎
年俸九百圓下賜（八月七日香川縣）　香川縣農事試驗場技師　池田哲哉

○宮廷錄事

○東宮御安著　皇太子殿下ハ一昨十四日午後零時二十分日光田母澤御用邸御出門同四十五分日光停車場御發車同三時西那須野停車場御著車同五時四十五分鹽原御用邸へ御安著アラセラレタリ

○韓國東宮御安著　韓國皇太子殿下ハ一昨十四日午前八時新冠御料牧場御出發厚別村ニ於テ御晝餐午後三時門別村御旅館（飯田信三郎邸）へ御安著アラセラレタリ

○皇族發著　守正王同妃伊都子兩殿下ハ方子女王、規子女王兩殿下御同伴一昨十四日御出發栃木縣下日光へ御旅行アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○韓國中央銀行ニ關スル覺書　去月二十六日韓國京城ニ於テ曾禰統監ト韓國内閣總理大臣トノ間ニ交換セラレタル韓國中央銀行ニ關スル覺書左ノ如シ

韓國中央銀行ニ關スル覺書

日韓兩國政府ハ韓國銀行ノ設立ニ關シ左ノ條款ヲ協定ス

第一條　韓國政府ハ韓國銀行ヲ設立シ之ニ兌換銀行券ヲ發行スルノ權ヲ與ヘ韓國中央金融機關タルノ業務ニ從事セシムルノ外日本銀行ノ委託アルトキハ日本國國庫金ノ取扱ヲ爲サシムヘシ

第二條　株式會社第一銀行ノ發行シタル銀行券ハ韓國銀行ノ發行シタルモノト看做シ韓國銀行ハ其ノ銷却ノ義務ヲ承繼スルモノトス

第三條　韓國銀行ノ株式ハ日韓兩國人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第四條　韓國銀行ノ重役ハ當分ノ中日本人ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第五條　韓國銀行ハ韓國政府持株以外ノ株式ニ對シテ爲スヘキ利益配當カ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ韓國政府持株ニ對シ利益配當ヲ爲スコトヲ要セス

第六條　韓國政府ハ韓國銀行ノ創立後五箇年間ハ同國政府持株以外ノ株式ニ對シ年百分ノ六ノ割合ノ利益配當ヲ保證スルモノトス

右覺書日韓文各二通ヲ作リ之ヲ交換シ後日ノ證トスル爲記名調印ス

明治四十二年七月二十六日　統監　子爵　曾禰荒助

隆熙三年七月二十六日　内閣總理大臣　李完用

○官吏發著　曩ニ青森及花卷地方ヘ出張ノ山根第八師團長ハ本月九日歸著、伊崎歩兵第三十二旅團長ハ地理實査ノタメ大阪府中河内地方ニ向ヒ同一日出發同十日、富山市ヘ出張ノ神尾第九師團長及同師團參謀長有田恕ハ同十一日孰モ歸著●土屋第四師團長ハ簡閱點呼視察ノタメ大阪府、兵庫、和歌山縣下ニ向ヒ同日、兒島歩兵第十五旅團長ハ歩兵第三十聯隊特命檢閱執行ノタメ新潟縣村松町ニ向ヒ同十二日孰モ出發●谷田憲兵司令官ハ同十三日著任セリ

曩ニ上京ノ吉村第四高等學校長ハ本月十三日出發歸任セリ

曩ニ上京ノ三重縣事務官湯地幸平ハ本月十三日出發歸任セリ

判決

○特許局審決　增田新藏ヨリ棚次辰吉ニ對スル第五七七四號特許權利確認審判請求事件ニ付キ去月十二日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

第一四二四號

審決書

靜岡縣志太郡小川町字小川二百六十一番地
請求人　增田新藏
東京市日本橋區本石町一丁目二十二番地
右代理人　特許代理業者　清水速郎
大阪市北區福島北二丁目百十九號ノ一號
被請求人　棚次辰吉

右增田新藏ヨリ棚次辰吉ニ對シ第五七七四號特許權利確認ノ爲メ審判請求ヲ爲シタルニ依リ遂審理處

請求人申立ノ要旨ハ第五七七四號特許ハ無效トストノ審決ヲ求ム其理由ハ被請求人ノ所有ニ係ル特許第五七七四號輕便飾縫機ノ發明ノ要部ハ其請求範圍ニ徵シ解釋スレハ二本ノ垂直針ト一本ノ水平針トノ組合ニテ飾縫ヲナス點ニ存シ其働作ヲ爲ス原因タルヘキ機構ニ關セサルコト明白ナリ然ルニ特許第五七七四號ト同樣ナル飾縫機又ハ裁縫機ハ前記特許出願前古ク歐米各國ニ行ハレ且本邦ニモ輸入サレ使用シ來リ其ノ裁縫機商裁縫機修理者竝ニ同機使用者等ノ熟知スル處ナルノミナラス西暦千八百九十二年英國「ロンドン、チャンバー」出版チャンバース、エンサイクロペヂヤ」第九卷三四九頁ノ下部ニ挿入セル第六圖竝ニ同上三四八頁ノ右列下段ニ於ケル説明ニハ明ニ二本ノ垂直針ト一本ノ横働針トニ依ル機械ヲ説明シアリ該書ハ出版後本邦ニ輸入セラレ人々ノ知ル所ナリ又右ノ如キ構造ヲ有スル機械ハ西暦千九百一年米國特許第六八六六六二號ニモ明記シアリ其明細書ハ出版ノ日ヨリ一箇月餘ヲ經過スレハ特許局圖書館ニ到著スルモノト思考スルニ依リ明治三十五年一月中卽チ本件特許出願以前ヨリ帝國内ニ於テ公知ニ屬スルモノト信ス從テ本件特許ハ特許法第二條第四號ニ該當スルモノニシテ無效タルヘキモノナリ云々ト云フニ在リ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ申立ハ相立タストノ審決ヲ求ム其理由ハ請求人カ本件特許ノ機械ト同樣ナルモノカ出願前公知ニ屬ストシテ引證セル所ハ机上ノ空論ニシテ其實物ヲ一見セハ本件特許機械ニ比シ著シキ差異アルヲ發見シ本件特許機械ノ公知ナラサル事實ヲ首肯シ得ヘシ請求人ノ援用セル「チャンバース、エンサイクロペヂヤ」ニ記載スル所ハ圖面ニ付テ之ヲ比較スルニ上部ニ二本ノ針ノ存在スルモ下部ニハ一本ノ針モ存在セス其他構造等ニ於テハ全ク本件特許ノモノト同シカラス又米國特許第六八六六六二號ノ明細書附屬圖面ヲ見ルニ本件特許ノ如ク横働針ナク其代リニ圓形ニ運動スル幅廣キモノ附著シ居リ且其働キ及構造等全然異レリ故ニ本件特許ノ出願前公知ニ屬セル事實ハ之ヲ認メス云々ト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類及ヒ證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ノ所有ニ係ル本件特許第五七七四號輕便飾縫機ノ權利トスル所ハ其請求範圍ニ記載セル構造ニ成ル飾縫機ニシテ其各針ノ運動ヲナサシムル機構ノ如何ニ制限サルヽモノニアラス然レトモ請求人カ引證セル西暦千八百九十二年出版「チャンバース、エンサイクロペヂヤ」第九卷ニ記載スル所ハ二本ノ垂直針ヲ有スルコト明白ナリト雖モ其他一本ノ横働針ノ有無判明セス唯タ三本ノ絲ヲ使用スルコトヲ記載スルモ其縫綴作用ノ如何ヲ明確ナラシムルモノニアラス從テ之ニ依リ本件特許ノ發明カ出願前公知ニ屬シタル事實ヲ認ムルニ足ラス又北米合衆國特許第六八六六六二號飾縫機ハ二重千鳥掛飾縫ヲナス機械ニシテ本件特許ニ於ケル縫綴ト共作用同シカラス從テ其垂直針ノ裝置ハ本件特許ノ請求範圍ニ記載セル如キ構成ナラス横働針ノ運動亦同シカラス故ニ其明細書カ本件特許出願前帝國内ニ於テ公知ニ屬セリトスルモ以テ本件特許カ公知ニ屬シタル事實ヲ證スルニ足ラス要スルニ請求人カ本件特許ヲ以テ特許法第二條第四號ニ該當ストナス證據ハ十分ナラサルモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十二年七月十二日於特許局

審判長　特許局技師工學博士　阪田貞一
特許局技師　湯淺藤市郎
特許局事務官　宿利英治

○陸海軍

○退役　後備役海軍大佐平山藤次郎、同海軍船匠長馬場馬次ハ昨十五日孰モ退役ト爲レリ（海軍省）

○不要徵兵終決處分者　宮崎縣ニ於テ明治四十一年以前ニ生シタル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中徵兵處分濟（滿四十歳超過、死亡等ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ（宮崎縣）

本籍	氏名	生年月日（明治）
宮崎郡赤江村字城ヶ崎七三	原田長三郎	元、八、六
同木花村字加江田	原清太郎	元、八、一九
同田野村五二二	永井敬一郎	元、八、一六
同赤江村大字城ヶ崎番戸不詳	宇都宮慶太郎	元、七、三
同大淀村字古城	豐後福彌	元、五、八
同佐土原町字上田島九三九	菅邊晶治	元、五、六
同瓜生野村字大瀨町五三	宮森定十	元、八、二三
南那珂郡細田村字下方三六五	丸山松次	元、三、三
同北郷村字大藤一一九	杉岡弘章	元、一、一五
兒湯郡高鍋町大字高鍋一六六	中本伊勢松	元、三、二〇
同川南村大字平川一二七	日高承一	元、三、一〇
東臼杵郡北浦村字古江一二九	兒島熊六	一八、四、一〇

第7843号　本文

同二四九七	兒島 豐四郎	三〇、八二〇	東諸縣郡高岡村字高岡町一〇八	外山 友太郎	一四、八二三
同細島町六五六	一政 清太郎	三〇、六二三	西諸縣郡眞幸村字昌明寺番戸不詳	白川 兼藏	二、四三〇
同北方村番戸不詳	友碇 政太郎	三〇、三三五			

○軍艦發著 各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先	艦名	月日	著	發	行先
武藏	八、一三	藥取			初春	八、一四		細島	有明附近
最上	同	玖波							

○財政

○全國各種銀行現立調 大藏省ノ調査ニ係ル去月末現立全國各種銀行數二千百八十六、資本金六億二千九百七十一万二百八十四圓ニシテ本年六月ニ比スレハ資本金三百四十一万九千六百四十五圓ヲ減シ行數一ヲ増セリ今各種銀行ニ就キ細別スレハ左ノ如シ（大藏省）

種目	前月ヨリ繰越高 行數	前月ヨリ繰越高 資本金（圓）	新設 行數	新設 資本金（圓）	貯蓄ヨリ普通ニ變更 行數	貯蓄ヨリ普通ニ變更 資本金（圓）	增資 行數	增資 資本金（圓）	減資 行數	減資 資本金（圓）	破産解散又ハ廢業 行數	破産解散又ハ廢業 資本金（圓）	差引現在 行數	差引現在 資本金（圓）
日本銀行	一	三〇、〇〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	三〇、〇〇〇、〇〇〇
橫濱正金銀行	一	二四、〇〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	二四、〇〇〇、〇〇〇
日本勸業銀行	一	一〇、〇〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一〇、〇〇〇、〇〇〇
農工銀行	四六	二九、九七〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四六	二九、九七〇、〇〇〇
臺灣銀行	一	五、〇〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	五、〇〇〇、〇〇〇
北海道拓殖銀行	一	五、〇〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	五、〇〇〇、〇〇〇
日本興業銀行	一	一七、五〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一七、五〇〇、〇〇〇
貯蓄銀行 內	六六五	一三四、七八五、六〇〇	—	—	—	—	一	五〇、〇〇〇	一	五〇、〇〇〇 ×	一	一〇〇、〇〇〇	六六四	一三四、六八五、六〇〇
同 外	一	一、二五〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一、二五〇、〇〇〇
普通銀行 株式 內	一、二一四	三二二、五一三、八七五	一	五〇〇、〇〇〇	一	一〇〇、〇〇〇	四	四八九、三五五	二	四、四五〇、〇〇〇	—	—	一、二一六	三一九、一五三、二三〇
同 株式 外	一三	四、一六四、四五〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一三	四、一六四、四五〇
同 合名 內	七一	二三、四一二、八五〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七一	二三、四一二、八五〇
同 合名 外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 合資 內	九七	一九、六三四、六三四	—	—	—	—	二	四一、〇〇〇	—	—	—	—	九七	一九、六七五、六三四
同 合資 外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 株式合資 內	二	六五二、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	六五二、〇〇〇
同 株式合資 外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 各人 內	七〇	五、二四六、五二〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七〇	五、二四六、五二〇
同 各人 外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	二、一八五	六三三、一二九、九二九	一	五〇〇、〇〇〇	一	一〇〇、〇〇〇	七	五八〇、三五五	三	四、五〇〇、〇〇〇	一	一〇〇、〇〇〇	二、一八六	六二九、七一〇、二八四

（備考）本表中「內」ハ內國銀行本店ニシテ「外」ハ外國銀行支店ノ符號トス ×印ハ貯蓄ヨリ普通ニ轉業セシモノナリ

○產業

○役員認可 株式會社肥後農工銀行代表者林千八ヲ熊本商業會議所會頭ニ、下田耕造ヲ同副會頭ニ、吉永爲巳、丹邊總次郎、園田郭六、筑紫萬次、橋本伊平ヲ同常議員ニ、會津亦賀ヲ新潟商業會議所常議員ニ當選認可申請ニ對シ本月十三日孰モ認可セリ（農商務省）

○鑛業事項 鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
兵庫試登錄第二百四號	赤穗郡赤松村地內	銀、銅	八四七、〇五二坪	大阪市東區今橋三丁目 山口 啓太郎	七、二六	試掘願許可
奈良試登錄第百三十一號	吉野郡野迫川村地內	同	九八三、〇三六	奈良縣吉野郡宗檜村 佐水 國太郎 外一人	七、二六	試掘鑛區增區願許可
石川試登錄第百九十二號	鳳至郡大屋村地內	金	六七八、〇四五	石川縣羽咋郡釶打村 小坂 二次郎	七、二七	試掘願許可
兵庫試登錄第二百五號	有馬郡有野村、山口村、道場村地內	石炭	八八四、八二七	大阪市東區北濱二丁目 福田 富藏 外一人	七、二九	同
膽振試登錄第二百三十一號	虻田郡辨邊村、壽都郡黑松內村地內	金、銀、銅	七五二、〇〇〇	北海道膽振國有珠郡伊達村大字東紋鼈村 小泉 秀一郎 外一人	八、六	同
石狩試登錄第四百八十四號	上川郡東川村地內	硫黃	八九八、二八七	同小樽區稻穗町 水口 政次郎	八、六	同
後志試登錄第百五十六號	古宇郡泊村地內	金、銀、銅	三七〇、三九三	同石狩國空知郡沼貝村字美唄 河村 稔介	八、六	同

採掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
福岡採登錄第四百二十一號	鞍手郡西川村地內	石炭	二四、五〇六	京都市上京區川端通丸太町南入東竹屋町 井上 靜雄	五、三一	採掘鑛區增區願許可
岡山採登錄第百三十二號	久米郡倭文西村地內	銅	一二二、四六九	岡山縣小田郡小田村 福島 惣平	六、二五	採掘鑛區減區願許可
岡山採登錄第百五十一號	苫田郡一宮村地內	同	六〇、四三一	同縣苫田郡津山町大字京町 矢吹 正策 外一人	六、二八	同
巖手採登錄第十三號	九戶郡山根村地內	金	七〇七、一二九	東京市芝區西久保巴町 岡田 治衞武	六、二八	採掘鑛區增區願許可
巖手採登錄第六十一號	和賀郡湯田村地內	銅	二五三、七二六	巖手縣和賀郡黑澤尻町 淸水 新	六、二八	同
福岡採登錄第四百十一號	鞍手郡西川村地內	石炭	五四、三一〇	東京市京橋區鎗屋町 大倉 粂馬	六、三〇	採掘鑛區增區願許可
福岡採登錄第六百二十七號	遠賀郡水卷村地內	同	八一、九二八	福岡縣遠賀郡水卷村大字古賀 瓜生 善美 外二人	七、一	採掘願許可
長野採登錄第五十八號	東筑摩郡波多村及南安曇郡安曇村地內	滿俺	一四一、六二四	長野縣松本市南深志 奥澤 俊次郎	七、一	同
新潟採登錄第四百八十二號	中蒲原郡新津町地內	石油	四三六、六〇四	新潟縣中蒲原郡金津村大字金津 中野 忠太郎	七、二	同
新潟採登錄第四百八十三號	三島郡日吉村地內	同	二八、一四八	同縣長岡市久七町 北谷 淸八 外一人	七、二	新潟採登錄第四七一號石油鑛採掘鑛區分割願許可
新潟採登錄第四百八十四號	同	同	一〇八、八二二			
新潟採登錄第四百八十五號	同	同	三九、〇〇〇			
宮城採登錄第七十三號	栗原郡文字村地內	亞炭	六二、三六六	宮城縣栗原郡文字村 菅原 善太夫	七、五	採掘願許可
靑森採登錄第四十七號	下北郡川內村地內	金、銀、銅、硫化鐵	一八二、四一四	東京市日本橋區坂本町 田中 銀之助 外一人	七、五	同
秋田採登錄第百七十五號	北秋田郡釋迦內村、山瀨村、下川沿村地內	滿俺	六〇、五三六	同市牛込區市ヶ谷田町三丁目 久保田 宗三郎	七、五	同
和歌山採登錄第五十一號	伊都郡見好村地內	銅	一九、八七五	和歌山市南休賀町 楠 太郎	七、五	同
福岡採登錄第三百號	嘉穗郡千手村地內	石炭	五三、一一五	福岡縣鞍手郡勝野村大字赤地 宮河 仲次	七、五	採掘鑛區增區願許可
茨城採登錄第五號	多賀郡華川村、北中鄕村地內	同	六六一、九四九	東京市京橋區築地二丁目 茨城無煙炭礦株式會社	七、六	同
茨城採登錄第十一號	久慈郡黑澤村地內	金、銀	一一六、七四七	茨城縣久慈郡黑澤村大字上野宮 八溝金山會社	七、六	採掘鑛區減區願許可
新潟採登錄第四百八十八號	三島郡日吉村地內	石油	九九、八五二	新潟縣長岡市船江町 野口 幸十郎	七、六	特許第六二五四號石油鑛採掘鑛區分割願許可
新潟採登錄第四百八十九號	同	同	一三〇、八七四			
愛知採登錄第三十二號	愛知郡猪高村、日進村、天白村地內	亞炭	一三五、七三五	愛知縣名古屋市中區前塚町 堀和 孝三郎	七、七	採掘願許可
愛媛採登錄第百十二號	伊豫郡佐禮谷村地內	銅	三〇六、七五六	愛媛縣西宇和郡八幡濱町 廣田 一方種 外一人	七、八	同
秋田採登錄第百七十六號	北秋田郡大葛村及鹿角郡曙村地內	金、銀、銅	五七三、〇〇八	東京市麴町區八重洲町一丁目 三菱合資會社	七、八	採掘鑛區增區願許可
長野採登錄第十四號	東筑摩郡生坂村、北村地內	石炭	六五六、三六二	長野縣松本市北深志 田中 甲子次郎 外二人	七、九	同
靜岡採登錄第七號	磐田郡山香村地內	銅	二九四、八四〇	東京市神田區駿河臺北甲賀町 靑山 金彌	七、九	採掘鑛區減區願許可
福岡採登錄第二百五十六號	嘉穗郡稻築村、庄內村、笠松村地內	石炭	一、七三二、五六九	福岡縣嘉穗郡飯塚町大字立岩 麻生 太吉	七、一〇	採掘鑛區增區願許可
福岡採登錄第六百二十八號	同	同	一、七六六、九二一	同上	七、一〇	福岡採登錄第二〇號同第七六號同第二五六號各石炭採掘鑛區合併願許可
福岡採登錄第六百二十九號	鞍手郡西川村、笠松村地內	同	二七九、三五二	京都市上京區川端通丸太町南入東竹屋町 井上 靜雄	七、一三	福岡採登錄第二四二號同第三四一號及特許第一九號各石炭採掘鑛區合併願許可
京都採登錄第三十七號	北桑田郡大野村及船井郡上和知村地內	滿俺	一四、一二五	大阪市北區西野田吉野町 福原 節介	七、一三	採掘鑛區增區願許可
新潟採登錄第四百九十號	古志郡內本村地內	石油	二三七、三八〇	新潟縣刈羽郡大洲村大字大久保 日本石油株式會社 外二人	七、一三	採掘願許可
巖手採登錄第百九十六號	下閉伊郡小國村、茂市村地內	金	九、一三〇	巖手縣下閉伊郡小國村大字江繋 前閑 萬藏	七、一三	同
後志採登錄第二十二號	壽都郡壽都町地內	金、銀、銅、鉛	一九〇、九五〇	東京市四谷區四谷大番町 武田 恭作	七、一三	同
熊本採登錄第百十七號	天草郡富岡町地內並ニ海面	金、銀、安質母尼	一八〇、五八三	熊本縣天草郡富岡町 後藤 富四郎 外一人	七、一四	同
宮城採登錄第七十四號	名取郡茂ヶ崎村、西多賀村地內	亞炭	八四、六六六	宮城縣仙臺市川內山屋敷 石垣 芳之進 外七人	七、一七	同
山形採登錄第十三號	東置賜郡吉野村地內	金、銀、銅、鉛、亞鉛	二三八、八七七	橫濱市山下町「ゼー、ファブル、ブランド、エンド、サン」合名會社 外一人	七、一七	採掘鑛區增區願許可
秋田採登錄第三十五號	北秋田郡花岡村、釋迦內村地內	金、銀、銅、鉛、硫化鐵	五六四、四三二	秋田縣北秋田郡大館町東大館 合資會社石田鑛業所	七、一九	同
秋田採登錄第四十二號	同郡花岡村地內	金、銀	六〇八、一三〇			
福島採登錄第三十九號	石城郡好間村、箕輪村地內	石炭	三三三、九五六	東京市日本橋區濱町三丁目 中根 虎四郎 外二人	七、一九	同
福島採登錄第百三十九號	同郡箕輪村地內	同	一一六、六一〇	東京府南足立郡千住町大字千住三丁目 鳥居 梅次郎	七、一九	同
德島採登錄第二十九號	麻植郡三山村、中枝村地內	銅	五三九、四二九	德島縣阿波郡市場町字市場 近藤 守之助	七、一九	同
愛媛採登錄第百十三號	西宇和郡町見村地內	同	四七、〇三一	愛媛縣西宇和郡町見村大字九町 武智 軍治	七、一九	採掘願許可
和歌山採登錄第五十三號	伊都郡九度山村、見好村、天野村地內	銅、硫化鐵	八〇六、六一五	德島市大字寺町 陸山 鉅公	七、二二	同
岡山採登錄第三十一號	英田郡楢原村、豐田村地內	銅	一一二、四四八	奈良縣吉野郡十津川村大字込之上 北村 文治 外一人	七、二二	採掘鑛區減區願許可
福島採登錄第三十四號	南會津郡舘岩村、荒海村地內	銅、亞鉛	九八五、五二九	東京市下谷區上野花園町 池上 仲三郎	七、二二	同

第7843号 本文

第 7843 号　本文

第7843号 本文

區	地名	觀測値
三	大分	[illegible]
三	松山	[illegible]
三	多度津	[illegible]
三	廣島	[illegible]
三	呉	[illegible]
三	岡山	[illegible]
三	神戸	[illegible]
三	大阪	[illegible]
三	京都	[illegible]
三	八木	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]
四	長崎	[illegible]
四	佐世保	[illegible]
四	佐賀	[illegible]
四	福岡	[illegible]
四	嚴原	[illegible]
四	下關	[illegible]
四	濱田	[illegible]
四	境	[illegible]
四	西ケ鄕	[illegible]
四	舞鶴	[illegible]
五	波切	[illegible]
五	津	[illegible]
五	岐阜	[illegible]
五	名古屋	[illegible]
五	濱松	[illegible]
五	長津呂	[illegible]
五	沼津	[illegible]
五	横須賀	[illegible]
五	横濱	[illegible]
五	東京	[illegible]
五	熊谷	[illegible]
五	布良	[illegible]
五	銚子	[illegible]
五	八丈島	[illegible]
五	父島	[illegible]
五	筑波山	[illegible]
六	高山	[illegible]
六	飯田	[illegible]
六	松本	[illegible]
六	長野	[illegible]
六	甲府	[illegible]
六	前橋	[illegible]
六	足尾	[illegible]
六	宇都宮	[illegible]
六	福島	[illegible]
七	彦根	[illegible]
七	福井	[illegible]
七	金澤	[illegible]
七	伏木	[illegible]
七	新潟	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]
七	秋田	[illegible]
八	水戸	[illegible]
八	金華山	[illegible]
八	石巻	[illegible]
八	水澤	[illegible]
八	宮古	[illegible]
九	青森	[illegible]
九	函館	[illegible]
九	寿都	[illegible]
九	札幌	[illegible]
九	上川	[illegible]
一〇	十勝	[illegible]
一〇	宗谷	[illegible]
一〇	網走	[illegible]
一〇	釧路	[illegible]
一〇	根室	[illegible]
一〇	紗那	[illegible]
一〇	大泊	[illegible]
一〇	眞岡	[illegible]
一〇	敷香	[illegible]
前日	釜山	[illegible]
前日	木浦	[illegible]
前日	仁川	[illegible]
前日	平壤	[illegible]
前日	元山	[illegible]
前日	城津	[illegible]
前日	[illegible]	[illegible]
前日	六連	[illegible]
前日	旅順	[illegible]
前日	營口	[illegible]
前日	奉天	[illegible]
前日	長春	[illegible]
前日	天津	[illegible]
前日	芝罘	[illegible]
前日	青島	[illegible]
前日	上海	[illegible]
前日	厦門	[illegible]
前日	福州	[illegible]
前日	[illegible]	[illegible]
前日	漢口	[illegible]
前日	沙市	[illegible]

○天氣概況　昨日一低氣壓八丈島ノ沖合ヲ北東ニ通過セシタメ本州南東海岸ニテハ北風強ク時々驟雨ヲ催シ又高氣壓オコツク海ニ移リタル爲メ本邦東部及北部ニ於テハ北東乃至北ノ風吹キ著シク冷氣ヲ催シタリ然レトモ今朝ニ至リテハ天候稍ヽ回復ノ緒ニ就キ京阪以西ハ引續キ天氣晴朗ナレトモ京阪以東ハ曇天ノ處多ク東北地方ニハ降雨スル處アリ琉球北部ノ海上ニ在ル颶風ハ依然トシテ滯留シ九州南部ニテハ風雨ノ處アリ奄美大島ニテハ暴風雨尚ホ繼續ス

富士山頂氣象

	十一日午後二時	十二日午前六時		十一日午後二時	十二日午前六時
氣壓	四八九・〇	四八九・一	雲量	七	二
氣溫	一一	四	雨量	—	—
風向	北東	南西	最高氣溫	一二	—
風力	和	軟	最低氣溫	三	—
			記事	霜アリタリ	

○低氣壓概報

七〇　七月二十九日—八月二日　呂宋附近ヨリ來レル颶風　七月二十九日呂宋ノ北東海上ニ顯レ始メ北東ニ進ミ三十日ノ夜沖繩島ノ南方ニ來リ三十一日ノ夜ニハ屋久島附近ニ到レリ而シテ八月一日ニハ同處ニ於テ北西ニ轉向シ九州南西部ノ海岸ニ沿ヒテ進ミ二日ノ朝五島附近ヲ通過シ韓國ヲ襲ヒ同夜大同江口ヲ經テ滿洲ニ入ル此低氣壓ハ頗ル優勢ニシテ九州及韓國ニハ著シキ水害ヲ釀セリ又其進路ハ稀有ニシテ明治三十二年七月八日ノ颶風ニ稍ヽ似タリ　最低氣壓七百四十粍

鹿兒島、大阪、神戸、四日市暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

十一日午後二時　颶風ノ中心ハ奄美大島附近ニ在リ其示度七百四十四粍ニシテ北ニ向ヒテ進行ス其速度殆ト停滯

十二日午前六時　颶風ノ中心ハ奄美大島附近ニ在リ其示度七百四十六粍ニシテ北ニ向ヒテ進行ス其速度殆ト停滯

○全國天氣豫報

自八月十五日午後六時至八月十六日午後六時二十四時間ノ天氣豫報　十五日發

第一區　南西ノ風、概ネ晴
第二區　北ノ風、概ネ曇少雨後晴
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　北東ノ風、概ネ雨後曇
第六區　第五區ニ同シ
第七區　第五區ニ同シ
第八區　第五區ニ同シ
第九區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ驟雨ノ模樣アリ
第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

北ノ風、曇ナレトモ驟雨ノ模樣アリ

○暴風警報　八月十四日午前八時一乃至四區及東京地方ノ警戒ヲ解キ、風雨ノ强カラントスル虞アリ同十五日午前八時一乃至四區ヲ警戒ス

○東京氣象

八月十三日

氣壓(海面ノ度)	平均	七五五・三粍	日照時間		五・七時
氣溫	平均	二六・一度（平年ニ同シ）	風	平均速度	二・二米
	最高	三〇・七度		最大速度	四・三米
	最低	二二・五度		多方向	南東
濕度	平均	七八・三%	降水	總量	—
水蒸氣張力	平均	一九・二粍		一時間最大量	—
雲量	平均	九・五	蒸發總量		四・九粍
			記事		朝霧及霧アリ又午後九時二分ヨリ八分間微雨アリ夜電光ヲ認ム

八月十四日

氣壓(海面ノ度)	平均	七五五・九粍	日照時間		七・四時
氣溫	平均	二四・八度（平年ヨリ一・〇度低シ）	風	平均速度	三・五米
	最高	二九・三度		最大速度	五・二米
	最低	二一・九度		多方向	東
濕度	平均	七五・五%	降水	總量	—
水蒸氣張力	平均	一七・四粍		一時間最大量	—
雲量	平均	八・〇	蒸發總量		四・六粍
			記事		朝露アリ

（以上中央氣象臺）

○廣告

○軌道財團

今般京濱電氣鐵道株式會社ヨリ所屬軌道全線路ニ對シ軌道ノ抵當ニ關スル法律第二條ニ揭クル物件ヲ以テ軌道財團ヲ組成シ豫メ之カ公告ヲ爲サンコトヲ申請セリ仍テ該軌道財團ニ屬スヘキ物件ニ關シ所有權以外ノ物權ヲ有スル者、差押、假差押若クハ假處分ノ債權者又ハ該軌道財團ニ屬スヘキ不動產ニ關シ賃借權ヲ有スル者ハ明治四十二年九月十五日マテニ申出ツヘシ但シ軌道用地以外ノ土地ハ左記ノ通トス

明治四十二年八月十六日　內閣總理大臣　侯爵桂太郎

軌道用地以外ノ土地

國	郡市	町村	大字	字	地番	地目	段別坪數	使用種類
武藏	橘樹	川崎	堀之內	南河原	八七五	田	畝 一・二三	材料置場
同	同	同	同	同	八七六	同	一一・二六	同
同	同	同	同	同	八七七ノ一	同	六・〇七	同
同	同	同	同	同	八七七ノ三	同	三・〇三	同
同	同	同	同	同	八七五ノ甲	同	一・〇六	同
同	同	同	同	同	八七三甲ノ三	同	〇・二三	同
同	同	同	同	同	八六六	同	〇・二一	同
同	同	同	同	同	八六九ノ一	同	四・二二	同
同	同	同	同	同	八七二ノ一	同	七・一六	同
同	同	同	同	同	八七四	同	二・一五	同
同	同	同	同	同	八六八	同	八・〇六	同
同	同	同	同	同	八七八	同	八・一九	同
同	同	同	同	同	八四九ノ二	同	〇・〇七	同
同	同	大師河原村		川中島	一、六七九ノ一	宅地	五・〇〇	同
同	同	同		同	一、六九九	田	八・〇一	同
同	同	同		同	一、七〇三	同	一〇・〇四	同
同	同	同		同	一、七〇四	同	七・二三	同
同	同	同		同	一、七〇五	同	六・〇三	同
同	同	同		同	一、七〇七	同	五・一五	同
同	同	同		同	一、七〇八	同	五・一九	同
同	同	同		同	一、七〇九	同	七・二七	同
同	同	同		同	一、七一一	同	五・一八	同
同	同	同		同	一、七一二	同	八・一八	同
同	同	同		同	一、七一三	同	七・二九	同
同	同	同		同	一、七一四	同	七・一七	同
同	同	同		同	一、七一六	同	八・〇七	同
同	同	同		同	一、七一八	同	八・〇三	同
同	同	同		同	一、七〇六	同	七・二四	同
同	同	同		同	一、七三三	同	九・〇六	同
同	同	同		同	一、七二〇	同	三・一一	同
同	同	同		同	一、七二七	同	九・一九	同
同	同	同		同	一、七三四	同	八・一三	同
同	同	同		同	一、七三五	同	七・一九	同
同	同	同		同	一、七〇二	同	一〇・二〇	同
同	同	同		同	一、七一〇	同	六・二三	同
同	同	同		同	一、七三〇	同	一・一七	同
同	同	同		同	一、七三一	同	三・〇八	同
同	同	同		同	一、七三二	同	一〇・〇八	同
同	同	同		同	一、七二九	同	七・〇四	同
同	同	同		同	一、七二八	同	三・一三	同
同	同	同		同	一、七三七	同	一〇・一一	同
同	同	同		同	一、七一九	同	二・一九	同
同	同	同		同	一、七二一	同	三・〇九	同
同	同	同		同	一、七三六	同	九・〇六	同
同	同	同		同	一、七一七	同	九・〇二	同
同	同	同		同	一、七二二	同	七・〇七	同
同	同	同		同	一、七二三	同	七・〇六	同
同	同	同		同	一、七二四	同	五・〇六	同
同	同	同		同	一、七二五	同	五・〇三	同
同	同	同		同	一、七二六	同	四・〇〇	同
同	同	同		同	一、六七五	宅地	四・一四	同
同	同	同		同	一、六七六	畑	八・〇六	同
同	同	同		同	一、六七七	同	四・二一	同
同	同	同		同	一、七〇〇	田	五・〇〇	同
同	同	同		畑	一、七〇一	畑	四・二〇	同
同	同	同		同	一、六七九ノ二	宅地	五・〇〇	同

○收容貨物

左記貨物ハ收容後滿六箇月ヲ經過シタルモノニ付キ關稅法第五十條ニ依リ公告ス

明治四十二年八月　神戸稅關

收容年月日	記號番號	箇數	品名
18/2/42	S&T 991 1/4	4 Cases	Cigarettes paper

○復習生募集

本院ニ於テ左ノ通產婆復習生ヲ募集ス志願者ハ願書ニ履歷書竝ニ產婆名簿ノ謄本ヲ添ヘ來ル九月二十日マテニ願出テ入學試驗期日ニ出頭スヘシ

但シ規則書ヲ要スル者ハ事務室ニ申出ツヘシ

明治四十二年八月　東京帝國大學醫科大學附屬醫院

人員　二十八

試驗科目

一　讀書　漢字交リ文（高等小學校卒業ノ程度）
二　作文　往復文
三　算術　加減乘除
四　產婆學
五　體格

試驗期日　來ル九月二十七日午前七時

○不能送付書類

實用新案登錄願第三五四二六號　本籍及住所東京市小石川區新諏訪町二十一番地　出願人　高岡喜三郎

右者本籍地ニ現住セサルノミナラス現住所竝ニ居所不分明ニシテ見本徵收通知書ヲ送付スルヲ得サルニ付キ實用新案法施行規則第二十四條ニ依リ公告ス

明治四十二年八月　特許局長　中松盛雄

○郵便局燒失

本月七日遠江國中部郵便局類燒セリ但シ郵便物異狀ナシ

明治四十二年八月　遞信省

○貯金通帳亡失及盜難等

左記貯金通帳亡失及盜難等ノ事故ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十二年八月　郵便貯金局

第7843号　本文

記番號		交付局所名		預ケ入氏名
そち	三五七七	肥前	大村	堀江　三四郎
くめ	一三七三	安藝	三津	竹中　イズミ
くはふ	一二七七	同	廣島大手町七	大神　清次郎
くはあ	一九六五	備後	原田	平岡　チヨノ
そひ	九八五	肥前	江迎	金子　ケサ
まにち	一七二八	薩摩	勝目	吉嶺　惠宗
ひい	二八七七	肥後	熊本	林田　唯喜
ひと	五一三五	同	隈府	川口　ツルヲ
てにる	三三五九	筑前	枝光	藤原　三次郎
なほ	三七九〇	豐前	中津	小南　不二男
てろ	一九一八	筑後	久留米	鹿兒島　松次郎
てち	五〇七一	豐前	香春	今川　辞彦
のま	四〇八九	周防	玖珂	戸河　務
のは	一七六〇	長門	下關東	木城　義八
そり	二五六二	肥前	武雄	久德　藏助
ふほを	二八〇	出雲	宇龍	松村　タノ
ふほつ	二八〇	同	鵜鷺	飯島　惣左衛門
同	二八一	同		飯島　源次郎
ろゐ	四〇八九	武藏	日本橋本石町	田上　富三郎
いる	一六八〇〇	同	赤坂一ツ木	豐島　アル
いはを	三八二二	同	京橋入船町	細川　富松
いろら	一六五八	同	下谷南稻荷町	田中　ず利
いいけ	二七七六	同	小松川	平澤　たる
いにつ	一一六三	同	牛込早稻田	松原　福十郎
らや	三九〇六	石狩	江別	渡邊　セツ
けり	四五七一	羽後	横手	小針　源治
らす	一九九五	北見	香深	木崎　倉吉
けめ	五一七七	羽後	新屋	森川　ナヲ
らちに	二四一	石狩	金山	澁谷　カ子
しろは	六五五	陸前	大原濱	須田　酉藏
しいろ	三一五二三	同	仙臺	遠藤　すも
しろふ	二四〇	同	田代島	相澤　善吉
をれ	五八四七	下總	八日市場	大木　保
恩り	七三五〇	郵便爲替貯金管理所		白土　茂
りて	三〇九二	相模	秦野	今井　正雄
りいす	二三二八	同	横須賀大瀧町	吉木　澤治郎
むにめ	三八七	信濃	常盤	村山　秀吉
ゐほる	四二八	越後	高田關町	市川　エチ
ゐほ	四一八六	同	糸魚川	松澤　久太
ゐち	六五三五	同	三條	熊谷　梅吉
むふ	一七〇八	信濃	丸子	小平　重藏
むにみ	三四六	同	豐井	丸井　嚴磨
わほい	六六三	尾張	名古屋大坂町	吉川　季喜
わにあ	一四〇八	三河	牛久保	山田　銀二
わほい	七六四	尾張	名古屋大坂町	吉川　ふさ
わり	二九〇四	三河	御油	小田桐　せい
わほい	六九六	尾張	名古屋大坂町	吉川　をか
やろ	一三九八四	伊勢	四日市	伊藤　くに
めむ	四一二五	駿河	大宮	入月　ため
たはに	八九	磐城	柳橋	白石　元吉
みれ	九七六	羽前	高畠	近野　もづゑ
みろら	一七四三	同	左澤	鈴木　照治
れいせ	一三一六	美濃	牧田	桐山　庄內
りり	三六七五	武藏	八王子	守屋　一郎
いはれ	三二五五	同	本郷根津宮永町	深澤　要
らゆ	三九六一	北見	網走	佐藤　喜代治
ゐるて	一九二	越後	高田下紺屋	飯野　養之助
むはゆ	七三	信濃	戸隱	岸本　せん
めそ	一五八三	遠江	笠井	永井　さゑ
めはゐ	八〇八二	駿河	靜岡傳馬町	小原　潔
いろて	一一三一	武藏	京橋加賀町	安部　豐
ほむ	八一三四	攝津	大阪老松町	宮崎　榮吉
ゐいゆ	二八三	同	大阪萬歲橋	金澤　順三
ゐはあ	七〇〇元	同	大阪船津橋	仲上　富十郎
ゐはき	四八七元	同	大阪難波河原町	山本　カ子
同	五〇七	同		池川　松太郎
ぬいな	六〇二八	播磨	御着	和田　きやう
ぬにい	八七九三	攝津	兵庫柳原	西田　ヤク
ぬいめ	一四七〇元	丹波	上田	吉見　治作
さひ	六一九四	山城	宇治	竹內　順吉
さいい	一七一七	同	田邊	山村　ゑい
さまい	一七四六	同	京都二條川	小泉　ゑげ
ちろを	一一〇四	土佐	小筑紫	池田　千代
つりい	四四三	備前	園	大田　藤一郎
すいせ	一三一六	伊豫	川之石	菱川　音五郎
にいゆ	一一四四	紀伊	箕島	山田　友之助
さわ	六〇五二	同	日足	根木　寅之助
さろゐ	八八六	大阪郵便爲替貯金支所		藤地　梅吉
つにつ	三六三九ノ三	阿波	芝生	佐藤　シゲ
つにな	五六二	越中	高岡宮脇町	藤木　彌作
かにわ	四二三元	伯耆	松崎	伏間江　與一郎
ふにち	三六一	大和	生駒	岩本　諒藏
ほろむ	二八九二	攝津	大阪櫻橋	上田　芳造
ほいゐ	一二七九	同		梅崎　康男
同	一二五三九	同		藤井　永三郎
同	一二五四一	同	大阪鶴橋	杉谷　元六
ほめ	一一二〇三	同		入江　善吉
同	一〇七六〇	同		山田　嘉一郎
同	一二五三三	同		岡村　園次郎
同	七二八二	山城	釜	兒島　岩次郎
同	一四〇九〇	攝津	大阪	馬場　小ミツ
ちろわ	一八一九	和泉	岡	宮浦　定吉
ほいいを	一三二	播磨	姫路米田町	大谷　丈之助
ほろろ	四六三元	攝津	大阪老松町	內本　正太
ぬほは	一〇五一	同		長谷川　隆明
ほい	四五三三二	同	大阪龜屋町	藪　桑三郎
ほむ	七三三七	同	神戸	微　甚吉
同	七二七一	同		大野
ゐいめ	四九一三	同		北崎　龜吉
ぬいり	五二三七九	同		
つりは	三八〇	土佐	高知浦戸町	

〇小字名稱廢止

東礪波郡蓮谷村大字細野村內小字稱八島同北田島ノ名稱ヲ廢スル件本月五日許可セリ

明治四十二年八月　富山縣

〇購買入札

一鐵螺旋釘　十三點　上野納

右購買ス入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月三十一日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス入札保證金各自見積代價百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

此契約ハ東部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス

明治四十二年八月十六日　東部鐵道管理局

一川砂　立百九十五坪　東京府豐多摩郡淀橋町淀橋煙草製造場新營工場納

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其營業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札規則、契約書案、注文書及持込日限書等熟覽ノ上本月二十三日午前十一時限入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ大藏省臨時建築部長工學博士妻木頼黃擔任ス

明治四十二年八月十六日　大藏省臨時建築部

一一號白木綿　一万段　右本廠納

一二號白木綿　五千段　右王子製藥場構內納

以上入札保證金各自見積代價百分ノ十以上(圓未滿切上ク)ヲ開札當日午前十時マテニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ今十六日ヨリ本月三十日マテニ營業證明書携帶當廠會計科ニ出頭入札心得書、契約書案及標本品等熟覽ノ上同三十一日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時同所ニ於テ開札ス但シ入札保證金及入札書ヲ郵送スルモ妨ナシ其手續ハ同科ニ就キ承知スヘシ

此契約ハ東京砲兵工廠附陸軍三等主計正金子義友擔任ス

明治四十二年八月十六日　東京砲兵工廠

第一號　過燐酸石灰　四千八百貫匁(有效燐酸分百分十五以上ヲ含有シ製造會社ノ證明アルモノ)

内

千五百貫匁　軍馬補充部白河支部納

千三百二十貫匁　同部一ノ又分廠納

千八十貫匁　同部芝原分廠納

九百貫匁　同部追原分廠納

第二號　同　二千百貫匁(同上)　軍馬補充部須須派出部納

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ本月三十日マテ(執務時間內)ニ當部ニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ本月三十日マテニ當部ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル九月一日午前十一時限入札保證金ヲ添ヘ當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ軍馬補充部白河支部長相浦多三郎擔任ス

明治四十二年八月十六日　軍馬補充部白河支部

第一號　過燐酸石灰　二千百貫匁

但シ軍馬補充部大山支部納

第二號　同　二千七百貫匁

但シ軍馬補充部大山支部赤崎派出部納

第三號　同　三百貫匁

但シ軍馬補充部大山支部旭川派出部納

納付期限　來ル九月十日限

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以上其營業ニ從事スル者ニシテ市町村長ノ證明ヲ要ス此證明書ハ入札前日マテニ當部ニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ當部又ハ赤崎、旭川兩派出部ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覽ノ上本月三十日午前十時當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ軍馬補充部大山支部長横山伊之助擔任ス

明治四十二年八月十六日　軍馬補充部大山支部

一杉板以下五廉　納期來ル九月三十日

入札保證金各自見積代價百分ノ十(圓未滿切上ケ臨昇トス)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月三十一日午前十時マテニ營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ當部ニ入札書差出スヘシ即時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ横須賀海軍經理部長相原鎰助擔任ス

明治四十二年八月十六日　横須賀海軍經理部

一「變壓器」　三箇

一「フェルト」　七千三百枚

一眞鍮板　百四十五枚

一山形鋼　三万千二百八十瓩

一甲號發信器附屬品　一揃

一甲號發信器附屬品　一揃

一甲號受信器附屬品　一揃

一甲號發信器附屬品　一揃

一乙號受信器附屬品　一揃

一乙號發信器附屬品　一揃

一乙號受信器附屬品　一揃

一丙號發信器附屬品　一揃

一丙號受信器附屬品　一揃

一「セグメント」　四千箇

一八吋水防電鈴　九十四箇

一通報器用轉換器　二十二箇

一通報器用接續器　五十一箇

一隔壁通報器用接續匣　六十五箇

一爆藥庫用燈框(甲)　百九十三箇

一「ペンデント」燈用燈框　六十七箇

一「ブラケット」燈用燈框　五百六十一箇

一炭庫燈用燈框　百六十八箇

一手提用燈框(甲)　三百十四箇

一羅針盤用燈框　三百四十七箇

一事業燈用燈框　七箇

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來繼續シ且ツ現實其營業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上本月三十日マテニ營業證明書ヲ差出シ同三十一日午前十一時限入札スヘシ同時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ呉海軍工廠會計部長島山類二擔任ス

明治四十二年八月十六日　呉海軍工廠會計部

一柔質丸、角、平鋼　二千三百九十五本

一亞鉛鍍鋼板　三百枚

一鋼板　四百四十枚

（以上）納期本年十一月一日

一山形鋼　三万五千瓩　同　十月十五日

一綿屑　一万瓩　同　來ル九月三十日

一木炭　六万瓩

同　三万瓩　同　同　九月三十日

同　三万瓩　同　同　十月三十一日

以上各入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十(圓未滿切上ケ圓止トス)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月三十日午前十時三十分營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同日午前十一時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ舞鶴海軍工廠會計部長五藤兵司擔任ス

明治四十二年八月十六日　舞鶴海軍工廠會計部

一外國白米　百石

一大麥　二百石

以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上(圓未滿切上ク)、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ本月三十日マテニ當監ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上同日午前十時マテニ保證金ヲ添ヘ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ浦和監獄典獄三浦貢擔任ス

明治四十二年八月十六日　浦和監獄

一　携帶用電話機　五十箇

二　電信用一心入鉛被「ラバーケーブル」　六千碼　東京納

以上來ル九月三日開札

十一　二心入淺海線　二海里一二　長崎倉庫納

本月二十三日開札

以上入札保證金毎廉各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課用度係ニ就キ見本、仕樣書、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上各々開札當日午前十時マテニ入札保證金ヲ納入シ同日正午十二時限入札スヘシ即時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ遞信省經理局長町田重備擔任ス

明治四十二年八月十六日　遞信省經理局

一注入杉電柱(檜代納ヲ許ス)　百七十本　但シ三河國岡崎郵便局附近外十一箇所分納

入札保證金各自見積代金百分ノ五以上(圓未滿切上ク)、入札者ハ滿二年以來其業ニ從事シ且ツ明治四十一年九月遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

右購買ス入札望ノ者ハ當局會計課ニ就キ入札人心得書、契約書案及仕樣書等熟覽ノ上本月二十三日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ名古屋郵便局長木槻幸吉擔任ス

明治四十二年八月十六日　名古屋郵便局

一杉電柱　九十一本

一杉根枷　二百本

以上入札保證金各自見積額百分ノ五以上(圓未滿切上ク)、入札者ハ二年以來其營業ニ從事シ且ツ明治四十一年九月遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

右購買ス入札望ノ者ハ本月三十日マテニ當局會計課ニ就キ入札人心得書、仕樣書及契約書案等熟覽ノ上同三十一日午前十時三十分マテニ入札保證金ヲ納付シ同十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ仙臺郵便局長小森七郎擔任ス

明治四十二年八月十六日　仙臺郵便局

一水管　六十箇

入札保證金各自見積總價百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ警視總監官房會計課ニ就キ入札人心得書、仕樣書、契約書案及標本等熟覽ノ上本月二十四日午前十時限同課ニ入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ警視總監官房會計課長警視屬長澤誠之助擔任ス

明治四十二年八月十六日　警視廳

一檜外三種木材

入札保證金各自見積額百分ノ五以上(圓未滿切上ク)、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ本月二十二日マテニ本院庶務課ニ就キ入札人心得書、注文書及契約書案熟覽ノ上同二十三日午前十時限同課ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ貴族院書記官長太田峰三郎擔任ス

明治四十二年八月十六日　貴族院事務局

〇工事請負入札

相模國三浦郡浦賀町

一觀音埼燈臺敷地(石垣面約七十坪外五廉)修繕工事　一箇所

入札保證金各自見積額百分ノ五以上(圓未滿切上ク)、入札者ハ二年以來其營業ニ從事シ且ツ明治四十二年遞信省令第二十七號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

右請負望ノ者ハ開札前日マテニ入札人心得書、仕樣書及圖面等ハ當所會計課ニ就キ、現場ハ前記觀音埼燈臺ニ就キ熟覽ノ上本月三十一日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ航路標識管理所長眞鍋時福擔任ス

明治四十二年八月十六日　横濱市　航路標識管理所

〇入札延期

去月二十九日本欄內掲載當局入札拂下公告中兩國出納事務所ニ於テ執行スヘキ石炭燃殼約百八十立坪ノ入札ハ都合ニ依リ本月十八日ニ延期ス

明治四十二年八月十六日　東部鐵道管理局

〇入札拂下公告取消

元千住警察署敷地及建物ノ入札拂下公告ハ取消ス

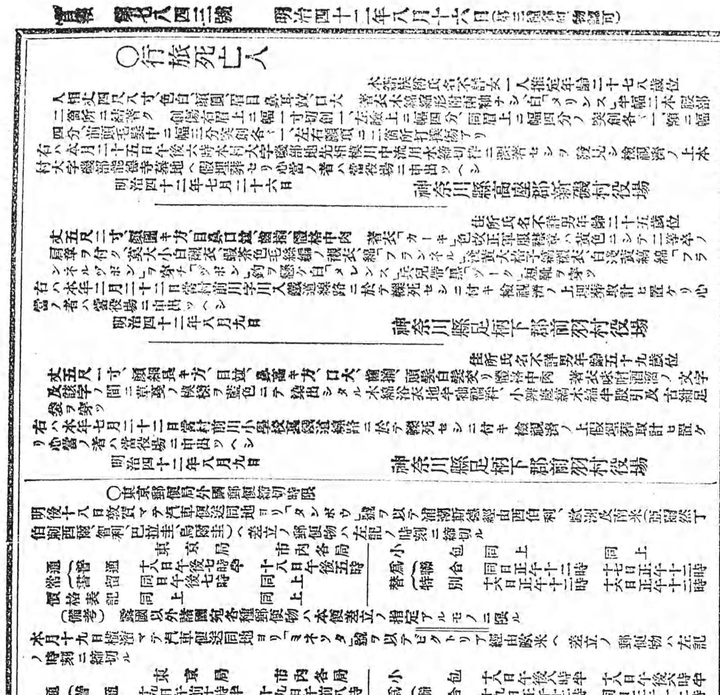
明治四十二年八月十六日　警視廳

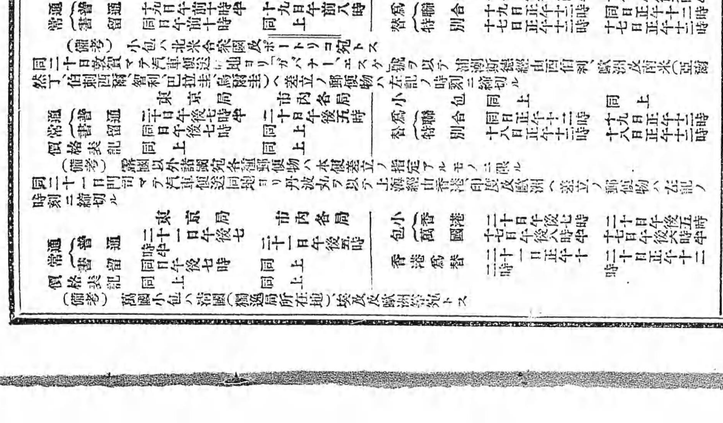
正誤

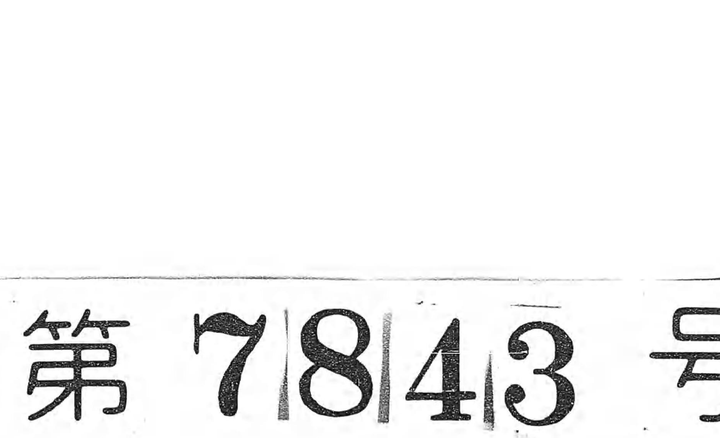
一昨十四日本欄購買入札ノ項中遞信省經理局ノ部二段九ノ行目「、」ハ「。」ノ誤

同上燈電話ハ攜帶電話ノ誤

○行旅死亡人







第78443号　本文